

600号 記念号



東京土建一般労働組合
台東支部
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp
HP:http://doken-taito.jp
編集 遠藤 顕寛

頼りになる組合を目指して

101500年8月
第1号発行

600号を迎えたいとうができました

東京土建一般労働組合 本部

後藤英雄 教宣部長



支部機関紙「たいとう」が600号発行の節目を迎えるにあたり心よりお祝い申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染拡大のもと、東京土建は「誰一人取り残さない！建設アクション2020」を立ち上げました。

組合の機関紙ではコロナ禍で困っている組合員の声、相談活動、国・自治体の助成制度などを紹介し、仲間への要求に答えてきました。「たいとう」もそうした視点に立った紙面で仲間と組合を結びつけました。また気軽に読める「つ

れづれなるままに」「五重塔」といったコラムや、地域の話題を欠かさないことも「たいとう」の大きな魅力になっていきます。600号の到達は毎月の発行に向けて役員・書記局が努力してきた賜物ですが、記事を寄稿してくれた仲間や取材にに応じてくれた仲間、そして多くの読者などがあつてのことに感謝します。「たいとう」が組合員・家族に読まれる機会として、支部の諸活動とともに発展していくことをご期待します。

「たいとう」600号、誠にありがとうございます。1号から600号まで、機関紙に携わった歴代の教宣部長、部員の方々に、担当書記さんには、敬意と感謝申し上げます。単純計算で月1回発行で50年間で、歴史の重さを感じ、実に感慨深い思いです。記念すべき600号に祝辞を書けることは大変光栄です。私は中央執行委員を10年務め、その

半分が教宣の担当「たいとう」には人一倍愛着を持っていきます。最初の15年間大切に保管してあります。私が新聞つくりに関わったのは、松が谷分会で故寺山貞幸さんと「パーソナル編集長」のソナル編集ソフトを使って、分会新聞を作ったのが最初でした。それから5年間執りましたが、一

番の思い出は支部の前教宣部長平山さんと参加した「教宣大学」なるもので3日間、目いっぱいシゴかれ、最後に、機関紙づくりは地味で大変な作業ですが、読者がたくさんいるので、今後もずっと発行していただきます。

も一読者として、また組合員として、年に2回ぐらいは投稿しようと思えます。本来なら記念式典でも開きたいところですが、コロナ禍の中ですから、650号まではおあずけですかね！愛される「たいとう」を引用するときにはご

遠藤秀明 前執行委員長



東京土建台東支部

東京土建台東支部
平山輝雄 前教宣部長



600号おめでとうございます。節目の100号毎の記念号を作るのはなかなか骨の折れる仕事で、編集長、教宣部員の皆さま、担当書記さん本当にご苦労様です。ひとえに100号記念の節目号を作成する

も落とさずに発行し続けるのは、以前にその業務に携わったものとして、は、その苦労はしみじみわかっていくつもりです。引き続き700号、800号を目指して地道に続けていくことを望んでおきます。これからも邁進を！

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」は誤訳



スポーツが人間にとっていかに大切かを説明するときなどに、この「健全なる・・・」という名言がよく引用される。人間は身体が丈夫でないと、精神までおかしくなるといわれるが、本当にそうか。身体が丈夫でも、ゆがんだ精神の持ち主はいるし、逆に肉体的に問題がある人が、すべて健全な精神ということではないだろう。

そう考えれば、「健全なる精神は健全なる身体に宿る」は、どこかおかしい。この言葉は古代ローマの詩人ユウェナリスの詩の一節から引用したものが、実はもとの詩は「賢者が神様に願うのは健全なる身体の中に健全なる心」となっている。すなわち「健全なる精神は、健全なる身体の中にあってほしい」が、その本来の意味で、「健全なる精神は健全なる身体に宿る」とは言っていない。誰かが翻訳する際に誤訳してしまったのだろう。

引用するときにはご注意を。

(E)

「たいとう」編集部員紹介

発刊600号を記念して、現在の台東支部
教宣部の編集部員を紹介します
記事を探して 日夜奔走しています！



編集部の面々です

教育宣伝部長になつて7年目、昨年来、コロナ感染防止に努める一方で、仲間の生の声を集めにくく四苦八苦しています。

ベテラン編集長 員間で共有したい。

① 粘り強く引き続き声を集める
早くコロナが収束することを願うばかりです。

② 今、何が関心を集めているのか絶えずアンテナを張る
松が谷分会 A・E

③ 可能ならば教宣部の後継者発掘も視野に入れて動く(現状高齢化で先が厳しい)
④ 教宣の楽しさ面白さを部員間で共有したい。

機関紙「たいとう」の記念すべき600号に携わることが出来る嬉しく思います。今はまだ教宣部のお荷物状態ですが、これから努力して頑張つて関わってまいります。

上野浅草橋分会
T・F

新人奮闘中

編集部員になつて何年になるのかよく覚えていませんが、どうにか続けています。なぜなったのか、それは同じ松が谷分会にいた前委員長の遠藤氏に「教宣部員でもやってみる？」といわれ、あまり深く考えずに引き受けてしまったのです。彼は私の同

級生でもあり、小学校から知っている間柄です。そして仕事も塗装業で同じ、住まいも近所、仕事に関して彼の先輩ですが幼なじみでもあります。

新聞を作るといふ事は聞いていま

したが、こんなに大変だとは！私の信条として何事もやってみなくちゃ解らないといふものがあり、やってみただけです。気が付いたのです。自分の文才のなさに、時すでに遅しです。毎月の教宣部会、編集会議で記事の担当割り振りをしていると、つい口が滑って「僕が書きます」と言ってしまうのです。そのたびに自分の文才のなさに悩まされる毎日です。そして教宣担当の書記さんに助けられる毎月です。

松が谷分会
Y・S

私が新聞「たいとう」にかかわりはじめたのはいつ頃だろうと古い新聞をひっぱり出してみたら、第390号が出てきました。思い返してみると、今は他界されている故寺山貞幸さんが新聞づくりに携わることになり、手伝つてもらえないか？と言われたのがきっかけでした。

当時は今と違って書記さんが紙面づくりをしていたのではなく、寺山さん本人が苦労してパソコンを使って作成していた。当時ソフトは何を使っていたのかかわ

からないが、記事と写真、イラスト等を紙にバラバラに出力し、台紙に切り貼りして何とか紙面らしくなるように苦労していました。

その後担当書記さんがパソコンでの作成を引き受けてくれることになったけれど、はじめのころは苦労していたらしいと故寺山さんから聞いたことがあります。その次に小久保書記が担当になってからは紙面が見違え

るほどすっきりしたように思えます。ある時期部長だった平山さんが担当を変わり、担当書記も吉田書記にかわったころ、コラム記事の「つれづれなるままに」や「ちよつと面白い話し」の書き手が不足していました。仕方なく北海道ツーリングの体験を小出しに書き、1年間しのいだことがありました。今思えば、東京の話ではなかったのが本当に申し訳なかつたつくづく反省しています。

松が谷分会
A・I

編集部員ではありませんが毎回教宣部の集まりに顔を出しています。2年前本部の教宣担当の役員になりました。支部の教宣も知らなきやダメでしょう。

オプザーバー参加

うと参加するようになりまし。今年度は別の担当に変わつたため支部の教宣部に顔を出さず理由はなく、支部分の役員として悪口を書かれていかいけません(ウソ、冗談です)。本当

記事の書き手が不足しております。皆さん記事は持ち込みでも「たいとう」に掲載されればクオカードがもらえますよ。

松が谷分会
K・T

東京オリンピック・パラリンピックについてひと言

五輪憲章は、オリンピックズム根本原則の目的として「人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てる」とである」と掲げています。また「社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基礎とする」ともつたっています。

このコロナ禍において、はたして東京五輪は五輪憲章に見合う大会になり得たのでしょうか。

東京オリンピックの思い出

中学時代、景信山の遠足の帰り道、先生たちは多分聖火のコースと知っていたかと思っます。私たちの隊列後方から、その一団はやってきました。立ち止まって見送りましたが、皆びっくりしてました。目の前を本物の聖火ランナーが拍手とともに走り去って行ったのです。1964年10月10日の東京オリンピック開会式開催、東京国立競技場でした。記憶に間違いなければ、当時開会式閉会式を含めた各種競技に一定数の選手が参加した。開会式の花「最終聖火ランナー」として聖

7月23日午後8時、東京オリンピック開会式が始まった。8年前にオリンピック開会式が東京に決まったとき、日本中とまでは言わないまでもテレビや新聞の報道関係は何か浮き足立っているように想えた。東日本大震災から2年福島第一原発事故の先見えない事後処理、日本中が暗いニュースばかりの中で、

唯一明るく希望の持てる話ではあつたのかも。うれいでもないか。感ぜない。いろいろな問題を引き起こしながらも、兎にも角にもオリンピックは始まったのだ。この記事を書きながら、思い起こすのは、これだけの問題が、ありながら、よくぞ開催されたもの。だ。とつくづく思う。

もうすでに7月25日、

コロナと五輪

7月23日午後8時、東京オリンピック開会式が始まった。8年前にオリンピック開会式が東京に決まったとき、日本中とまでは言わないまでもテレビや新聞の報道関係は何か浮き足立っているように想えた。東日本大震災から2年福島第一原発事故の先見えない事後処理、日本中が暗いニュースばかりの中で、

唯一明るく希望の持てる話ではあつたのかも。うれいでもないか。感ぜない。いろいろな問題を引き起こしながらも、兎にも角にもオリンピックは始まったのだ。この記事を書きながら、思い起こすのは、これだけの問題が、ありながら、よくぞ開催されたもの。だ。とつくづく思う。

もうすでに7月25日、

日現在、日本人の金メダリストは私個人としても嬉し個人としてもある。しかしこのオリンピック、一番の問題となり、たのはコロナ感染症対策だ。同月28日東京では3000人を超えて、過去最多を更新している。コロナは一向に収まる気配はない。8月にはいつか。どうなっていくのか。

感染症については、日々のニュースから私自身、

の回りに注意し、自粛に留意するしかない。留まるつもりで、騒ぎ立てるつもりもない。不安を、あおるようなことを、い。う。つ。も。り。も。ない。それでもオリンピック競技は続けられるのだろうか。

私はテレビの前で一喜一憂している。このまま開催してしま。う。の。か。参加者にとつて、コロナ感染症はリスクが大きすぎるのか。は

杉本 良信



無観客開催となった国立競技場

土建国保料の免除制度

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活が著しく困難になり、次のいずれかの要件を満たす方は保険料が免除となります。

- ① 主たる生計維持者（世帯主）が死亡または重篤な傷病を負った組合員 ⇒ 保険料（4カ月分）を免除
- ② 組合員の建設産業の収入が2019年または2020年と比べて30%以上減少することが見込まれる組合員 ⇒ 保険料（2カ月～4カ月分）を免除

・ 収入の減少率に応じて免除期間を決定します

＜2020年と比較する場合＞	
収入の減少率	保険料の免除期間
50%以上	4カ月
40%以上50%未満	3カ月
30%以上40%未満	2カ月

※前記に加え、2020年の合計所得が1,000万円以下および減少が見込まれる収入以外の所得の合計が400万円以下である場合が対象です。

＜2019年と比較する場合＞	
収入の減少率	保険料の免除期間
30%以上	2カ月

※上記に加え、2020年・2019年の合計所得がそれぞれ1,000万円以下および減少が見込まれる収入以外の所得の合計がそれぞれ400万円以下である場合が対象です。

【申請期間：2021年7月5日（月）～2021年11月19日（金） 国保組合必着】

【対象となる保険料：2021年10月から2022年3月分まで（最大で4カ月分）】

お問い合わせは台東支部まで ☎ 03-3876-1966

